



登り藤

令和8年5月7日(木) 発行
令和8年度 第2号
江戸川区立南葛西第二中学校

あいさつ

校長 江熊秀昭

新年度が始まって1か月が経過しました。新しい友人や先生とも良好な関係を築けている人、何となく上手く馴染めていない人など様々でしょう。

「コミュニケーション能力」という言葉を知っていますか。「相手との関係を円滑にし、意思疎通をスムーズに行うための力」を意味します。一般的に「コミュニケーション能力が高いと、優れている、人間性が豊か、有利」と言われることが多くあります。本当にそうでしょうか。商談を進める、営業職など仕事の上では、確かに有益なことがあります。

普段の生活ではどうでしょうか。大勢で賑やかな雰囲気が好き、一人で静かであるのが好き、人それぞれ好みがあります。その日の気分(気持ち)で、変わることもあります。「コミュニケーション能力」で人の価値が決まるわけではなく、そのことで不利益が生じることなどあってはいけません。休み時間の過ごし方も人それぞれであって、周囲に迷惑をかけていなければ、何の問題もありません。

学校も社会も集団で成り立っています。南葛西第二中学校、学年、学級、班、家族、町会、葛西地区、江戸川区、東京都、国といった集団には所属しています。そうした集団で生活するために「コミュニケーション能力」とは別に、最低限必要な社会生活を円滑にするための行動や作法があります。

その第一が「あいさつ」です。「あいさつ」を漢字で書くと、「挨拶」となります。挨拶は「近づく」、搦は「迫る」という意味をもっています。もともとは禅宗で問答を交わし合う「一挨拶(いちあいいちさつ)」という言葉が語源になったようです。あいさつは、互いに近付き心の距離を近くしていく行為と行うことができるでしょう。心の距離が近くなれば人は安心し、警戒を緩めます。悪意がないことを示します。日常的にあいさつを交わすことで、表情や声の大きさでお互いの様子が分かってくることもあります。ただし、威嚇する、馬鹿にするようなあいさつは相手を不愉快にさせるだけです。

人は誰とでも仲良くすることは難しいことです。どうしても気の合わない人、人との関係を避ける人など様々な人で成り立っているのが現実です。気の合わない人に挨拶もしない、無視するでは「しあわせを感じられる社会」などできません。せっかく縁あって南葛西第二中学校に通う仲間です。他学年でも、見知らぬ来客の方でも、あいさつを交わす習慣を身につけてください。

また、助けてもらう、手伝ってもらおうなどしんせつにされたら、「ありがとう」とお礼のあいさつも忘れないようにしてください。

おはよう こんにちは さようなら ありがとう どういたしまして お願いします



※本校ホームページも随時更新しています。ぜひ本校生徒の活躍の様子をご覧ください。➡